

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様								必須
21							POSシステム	
21	1						基本要件	
21	1	1					基本機能	
21	1	1	1				当センターの医事会計システムと窓口支払機をTCP/IP方式でLAN接続し、ソケット通信で送受信が行えること。	○
21	1	1	2				医事会計システムから送信される請求情報を受取り、請求金額が画面に表示できること。	○
21	1	1	3				医事会計システムから送信される内容により、当センターの運用で窓口支払機での収納を制限できること。	○
21	1	1	4				請求金額が入金されることにより、医事会計システムの未収情報が入金済みになること。	○
21	1	1	5				医事会計システムと連携しない項目について、入出金処理ができること。	○
21	1	2					窓口支払機本体に関し、以下の要件を満たすこと。	
21	1	2	1				以下のいずれの操作でも、本体画面に未収の外来及び入院費の請求額が表示できること。 ・診察券（磁気カード・JISⅡ型）をカードリーダーで読取った場合。 ・患者IDのバーコードが印字された任意の用紙をバーコードリーダーで読取った場合。 ・患者IDを入力した場合。	○
21	1	2	2				画面は15インチTFTカラー液晶画面、タッチパネル方式であること。	○
21	1	2	3				医事会計システムから送信される情報により、患者氏名、受診年月日、診療科名、請求額（受診日・受診科毎）、請求額合計が画面に表示できること。	○
21	1	2	4				受診年月日、診療科名及び請求額は10件以上画面表示できること。	○
21	1	2	5				複数の請求がある場合、請求単位で入金が行える機能を有していること。	○
21	1	2	6				任意の金額を指定して入金が行える機能を有していること。	○
21	1	2	7				医事会計システムから返金データを受け取り、返金可能な機能を有していること。	○
21	1	2	8				医事会計システムと連携しない入出金項目の名称、金額の登録が任意にできること。	○
21	1	2	9				患者様側に請求金額の表示ができること。	○
21	1	2	10				紙幣合計400枚以上、硬貨各金種100枚以上収納できる構造であること。	○
21	1	2	11				紙幣は取り込み時のエラーが少ない長手方向挿入であること。	○
21	1	2	12				入金処理において、以下の金種の取り扱いができる構造であること。 ・紙幣 全金種（一万円、五千元、二千元、千円） ・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）	○
21	1	2	13				入金方法において、紙幣20枚以上・硬貨50枚以上の一括混在投入ができる構造であること。	○

別紙1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
21	1	2	14			出金処理において、つり銭として利用する以下の金種の取り扱いができる構造であること。 ・紙幣 3金種（一万円、五千円、千円） ・硬貨 全金種（五百円、百円、五十円、十円、五円、一円）	○
21	1	2	15			一万円、五千円、千円及び硬貨の全金種は還流できる構造であること。	○
21	1	2	16			出金口にLEDランプを搭載し、取り忘れを防止する機能を有していること。	○
21	1	2	17			エラー解除の際は、つり銭機本体でアニメーションで解除方法のガイダンスが行えること。	○
21	1	2	18			現金管理の厳正化の観点から、高額収納の紙幣部には、カセット鍵に加え、カセット抜き取り鍵を搭載していること。	○
21	1	2	19			両替機能を有していること。	○
21	1	2	20			紙幣と硬貨の合算値の定額つり銭を機内に残す機能を有していること。	○
21	1	2	21			使用者を限定するためにログインID／パスワード（英数字）の入力機能を有していること。	○
21	1	2	22			窓口支払機は独立して運用でき、サーバ等の制御装置は不要であること。	○
21	1	2	23			硬貨つり銭機と紙幣つり銭機は分離でき、左右入れ替えが可能なこと。	○
21	1	2	24			つり銭機・操作ユニット以外に、PC本体などの機器が不要なこと。	○
21	1	3				領収書、診療明細書発行に関し、以下の要件を満たすこと。	
21	1	3	1			領収書、診療明細書は自動精算機と同一のものが発行できる機能を有していること。	○
21	1	3	2			エラー発生時に領収書を再発行できる機能を有していること。	○
21	1	3	3			0円の領収書について出力可否を選択できること。	○
21	1	3	4			診療明細書の出力可否を選択できること。	○
21	1	4				デビットカード、クレジットカード取引に関し、以下の要件を満たすこと。	
21	1	4	1			クレジットカード、デビットカードでの支払い時の入金区分を医事会計システムに送信できること。	○
21	1	4	2			支払い時の入金区分の選択はクレジットカード、デビットカード払いを利用する場合のみ発生すること。（現金払いの場合は操作不要であること。）	○
21	1	5				その他として、以下の要件を満たすこと。	
21	1	5	1			カード決済端末の機種によっては連携することが可能であり、連携時には金額の二度打ちが不要となること。	○
21	1	5	2			2024年度上期中に発行予定の新紙幣に関して、読取対応機もしくは読取を約束した機器の納品を行うこと。	○